

連絡事項：有毒種のカレニア・ミキモトイが注意密度を超えて確認されました。魚介類の管理にはくれぐれもご注意ください。

表1 臼杵湾赤潮プランクトン調査結果(R6.7.17)

単位：細胞数／c c

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャトネラ spp.	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ	ゴニオラックス ポリグラマ
1. 千怒崎岸壁	9:21	0	23.4	-	-	0	1,100	0	0

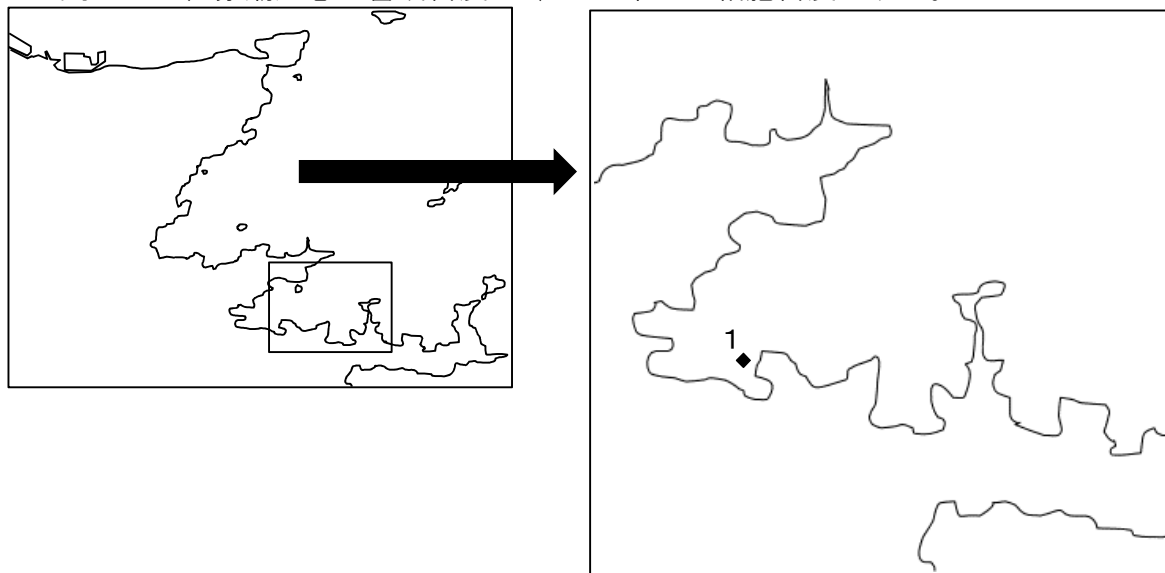
※地点1において中部振興局採水・検鏡

参考：赤潮注意・警戒密度（単位：細胞数／c c）

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャトネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コックロデニウム・ホリクイコイデス	30以上	300以上

*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

*マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。



※採水地点は目安です